

1 展示活動

(1) 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催している「新潟市北区こども科学展」は中止した。

①常設展拡大企画

昭和の暮らし展－「住まい」の道具イロイロー

シリーズ4回目は、「住まい」にかかわる約50～70年前の道具や写真など84点の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介した。

- ・会期 令和2.1/4(土)～5/17(日)
(4/21～5/10は感染症拡大防止のため臨時休館)

・入館者数 2,049人(4/1～5/17は334人)

・展示点数の内訳 民俗資料56点(参考資料2点含む)
写真22点 イラスト6点

●ふろしきで包んでみよう 会期中随時(5月から中止)

●天びん棒を担いでみよう 会期中随時(5月から中止)

●展示解説会

実施日 4/11(土) 参加者数 3人
(4/25(土)は臨時休館のため中止)

講師 曾部珠世

※手織り体験と葛塚縞手織り機の実演及び、昔のおもちゃで遊ぼう(3月～5月)は、感染症拡大防止のため中止した(1月～2月の手織り体験と葛塚縞手織り機の実演については前号参照)。

②－写真と映像、そして本物で見る－

北区の神楽と獅子舞のここに注目展

北区には多くの郷土芸能が受け継がれ、神楽・獅子舞は18団体が活動中である。平成29～令和元年度にかけて実施した事業などで撮影した写真・映像、資料を通して、北区の郷土芸能を紹介した。

・会期 6/6(土)～7/12(日)

・入館者数 650人

・展示点数の内訳
実物11点 写真36点 説明パネル8点

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初企画した芸能発表会は実施しなかった。

③常設展示併催一所蔵美術作品特別展示

福島潟が育んだ水絵の文化

新潟市北区の豊栄地域に根付いている水絵(水彩、日本画)の文化を、在郷作家3人の自然をみつめる眼を通して考える機会とした。

・会期 7/23(木・祝)～8/23(日)

・入館者数 609人



「昭和暮らし展」展示解説会



北区の神楽と獅子舞のここに注目展



福島潟が育んだ水絵の文化

・展示点数の内訳

水彩画7点、日本画3点

・出品作家

五十嵐道雄、高野常与志、月岡徳恵

④第23回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、新潟市内の小学3年生～中学3年生を対象に、書に親しむ機会づくりの一環として開催。学校の臨時休校により、作品の応募締切と開催時期を例年より遅らせて実施。応募総数1,980点のうち入賞・入選作品238点を展示した。

また、前年度に続き、中学1年生の課題「河童の沼」にちなみ、文学作品『河童のユウタの冒険』関連の模型とパネルを展示。

- ・会期 9/12(土)～10/11(日)
- ・入館者数 914人
- ・審査員(50音順)
 - 伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館 学芸員)
 - 岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部 教授)
 - 小黑 五稜氏(書家・新潟県書道協会顧問)
 - 和泉 哲章(新潟市立白南中学校 校長)

・応募校数		・学年別応募数内訳(点)	
		()内は教室・個人	
北区内	…小学校9校 中学校6校	小3	313(39)
市内他区	…小学校1校 中学校5校	小4	373(63)
書道教室	…9校	小5	321(71)
個人出品	…6人	小6	347(44)
		中1	437(37)
		中2	105(32)
		中3	84(19)
		合計	1,980(305)

- ・入賞者数 松蔭賞 7人(各学年1人)
- 238人 優秀賞 21人(各学年3人)
- 特選 70人(各学年10人)
- 佳作 140人(各学年20人)



第23回 松蔭賞書道展

⑤美術にみる

型とシンボル展－図像の伝統と現代－

伝統的なシンボル(象徴)を用いた図像(虎図、達磨図等)や「型」による造形(ひな人形、天神人形等)と対照しつつ、新潟出身の気鋭の作家 北條佐江子、長沢明、ワタナベメイの絵画作品や、高橋清の彫刻作品(当館所蔵)にみる、現代美術の記号的な表現を紹介した。

- ・会期 11/14(土)～12/13(日)
- ・入館者数 1,015人
- ・展示点数の内訳
 - 平面15点、立体5点
- ・出品作家
 - 鈴木香雲、高橋清、長沢明、北條佐江子、味方海山、森華江、ワタナベメイ

●作品鑑賞会

- 実施日・参加者数・講師
- 11/22(日)・28人・神田直子
- 11/29(日)・4人・齋藤加奈

- 12/6(日)・4人・齋藤加奈
- 12/13(日)・6人・神田直子



「型とシンボル展」作品鑑賞会

⑥常設展拡大企画

昭和の暮らし展 昔の子どもたちの日々

約50～70年前まで使われた道具から、昔の生活、人々の知恵・工夫を紹介するシリーズの第5回目。学校で使われていた教科書や備品、手作りの遊び道具のほか、家の“働き手”として子どもたちも使った道具を展示し、昭和30年代頃までの子どもたちの生活や、生活の苦労の中にあつた数々の工夫や楽しみを紹介した。

- ・会期 令和3. 1/5(火)～5/16(日)
- ・入館者数 2,494人(1/5～3/31まで1,583人)
- ・展示点数の内訳 民俗資料67点(参考資料2点含む)
 - 写真27点、イラスト5点
- ひみつ基地で遊ぼう(昔の遊び) 会期中随時
- 天びん棒を担いでみよう 会期中随時

2 教育普及事業 (講座・教室・講演会・講師派遣等)

※感染症拡大防止のため「第30回 博物館まつり」は中止した。

(1) 講演会『「越後輿地全図」で見る福島潟の開発～日本で唯一無二の「国絵図」「越後輿地全図」とその系譜～』

江戸後期に地理学者 草間文績等によって作られた越後輿地全図の特徴と、福島潟の新田開発の経緯などについての講演。申込多数であったため、2日間開催した。

- ・期日と参加者数 11/7(土)・30人
- 11/8(日)・28人
- ・会場 当館
- ・講師 亀井 功氏(巻郷土資料館友の会会員)



亀井氏(右)所蔵のさまざまな絵図を広げての講演

(2) 歩いて！バスで！おとなの北区探検ツアー

新型コロナウイルスでの事業の中止や変更により、急ぎょ屋外で行う全3回の講座を新潟市豊栄地区公民館と企画。定員の制限で募集人数が少なかったため申込多数となり、各コースを2回ずつ実施した。

・共催 新潟市豊栄地区公民館、当館

・期日と参加者数

●岡方コース「阿賀野川の河跡を歩く」

新江用水、十二湯、旧長戸呂湯跡、高森の丘など
9/16(水)・12人 10/14(水)・11人

●木崎コース「砂丘と放水路を巡る」

福島潟放水路管理所・棕堰、北巡駐蹕碑、木崎村小作争議記念碑など

9/23(水)・12人 10/7(水)・12人

●葛塚コース「川に囲まれていたまちの歴史を歩く」

開市神社、本町通り、新井郷川の改修跡など
9/30(水)・13人 10/21(水)・11人

・講師 曾部珠世(岡方・木崎コース)

まち歩きガイド北宝隊2人(葛塚コース)



葛塚コース(北宝隊によるガイド)

(3) 講師派遣等

事業名・主催	期日・参加者	内容	派遣講師
「ご近所だんぎ」 新潟市豊栄地区公民館	9/10(木) 26人	講座 「写真で見る北区の水害」	曾部珠世
「とよさか中高年教養大学」 (同上)	9/12(土) 40人	講座 「現代美術への招待(2)」	神田直子
「とよさか中高年教養大学」 (同上)	令和3. 2/13(土) 40人	講座 「世界の美術館ー コレクションのお話ー」	神田直子

(4) 他館への協力

① 江南区郷土資料館ボランティア向け研修への協力

北区の勤皇の志士 遠藤七郎(北辰隊)と曾我簡堂(岡方組正気隊)を学ぶ研修の対応。当館市民ガイドの研修も併せて行った(内容は6頁を参照)。

・主催 新潟市江南区郷土資料館

・期日と参加者数 10/30(金)・19人

(うち4人は当館市民ガイド)

・会場 当館

・講師 曾部珠世

(5) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、郷土史関連図書の間覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(6) 北区のお宝マップ(第4版)の改訂

詳細は10頁に掲載

3 ふるさと学習への対応

(1) 学校教育の場としての利用

常設展示及び企画展「昭和の暮らし展」などを通して、小学3年生の「かわる道具と暮らし」、小学4年生の「福島潟の干拓の歴史」などの説明を行い、学校教育の一環としての博物館利用に対応し、学習の場を提供した。対応にあたり、市民ガイドの協力をいただいた。

① 葛塚小学校4年生(社会科「福島潟の干拓の歴史」)

・期日と人数 11/18(水)・60人

11/20(金)・63人

・会場 常設展示室(両日)

・講師 曾部珠世(両日)、
市民ガイド1人(18日)、2人(20日)

② 葛塚東小学校4年生(社会科「福島潟の干拓の歴史」)

・期日と人数 12/8(火)・62人

12/10(木)・63人

・会場 常設展示室(両日)

・講師 曾部珠世(両日)
市民ガイド1人(8日)、2人(10日)

③ 木崎小学校3年生

(出前授業「木崎地区ってどんなところ?」)

・期日と人数 12/10(木)・78人

・会場 新潟市立木崎小学校

・講師 木村隆行

④ 葛塚東小学校3年生(社会科「かわる道具と暮らし」)

・期日と人数 令和3.1/19(火)・65人

1/21(木)・32人

1/22(金)・32人

・会場 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」(全日)

・講師 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈(全日)
市民ガイド2人(各日、のべ6人)

⑤ 葛塚小学校3年生(社会科「かわる道具と暮らし」)

・期日と人数 令和3.1/20(水)・33人

1/22(金)・65人

・会場 常設展示室、ホール「昭和の暮らし展」(両日)

・講師 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈(両日)
市民ガイド2人(20日)、3人(22日)

⑥木崎小学校3年生(社会科「わかる道具とくらし」)

- ・期日と人数 令和3.1/27(水)・28人
1/28(木)・27人
1/29(金)・29人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」(全日)
- ・講師 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈(全日)
市民ガイド3人(27・29日)、2人(28日)

⑦岡方第一小学校3年生(社会科「わかる道具とくらし」)

- ・期日と人数 令和3.2/9(火)・17人
- ・会場 常設展示室、ホール「昭和のくらし展」
- ・講師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド1人



葛塚東小学校4年生 福島潟の干拓の歴史



木崎小学校3年生
(天秤棒で水運び体験)



葛塚小学校3年生 かわる道具とくらし
(昭和のくらし展 見学)

(2) 一般の地域学習の場としての利用

①郷土・新潟を元気にする会「生活を支えてきた

葛塚市場のおゆみ 遠藤七郎左衛門」

- ・期日と人数 4/3(土)・37人
- ・会場 常設展示室、集会室
- ・講師 曾部珠世

4 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動

(1) 市民ガイドの活動実績

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行った(登録13人)。

- ・一般団体見学対応 0回
- ・個人見学対応 2回
見学者4人 市民ガイドのべ2人
- ・学校見学対応(再掲)13回
見学者のべ576人 市民ガイドのべ26人

(2) 市民ガイド研修

ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

①当館企画展関連研修と情報交換

「一写真と映像、そして本物で見る—北区の神楽と獅子舞のここに注目展」での研修(担当 木村)と、令和元年度のガイド実績報告、ガイドを行う上での課題等の意見交換(担当 曾部、齋藤)を行った。

- ・実施日と参加者数 7/11(土)・市民ガイド6人
- ・研修場所 当館
- ・担当 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈

②常設展示「北区の明治維新」関連研修(他館ボランティアとの合同研修)(再掲)

江南区郷土資料館ボランティアガイド研修として、北区の勤皇の志士 遠藤七郎(北辰隊)と曾我簡堂(岡方組正気隊)に関する歴史資料、書画作品等の展示解説を行うのに合わせ、市民ガイドへ参加を呼びかけ、研修を行った。

- ・実施日と参加者数 10/30(金)・市民ガイド4人
- ・研修場所 当館
- ・担当 曾部珠世



研修の風景

③当館企画展関連研修と情報交換

「美術にみる 型とシンボル展」での市民ガイド向け研修(担当 神田)と、コロナ禍におけるガイド方法についての意見交換(担当 曾部、齋藤)、常設展示「水のめぐみ」コーナー資料の展示順変更にかかる報告(担当 曾部)を行った。

- ・実施日と参加者数 11/14(土)・市民ガイド3人
- ・研修場所 当館
- ・担当 神田直子、曾部珠世、齋藤加奈

④ガイド実践研修

小学校のふるさと学習に対応するための「予習・実践・振り返り」等の実践的な一連の研修を行った。

・実施日 令和3.1/17・19～22・27～29、2/9

※太字は予習

- ・参加者数 市民ガイド3人
- ・研修場所 当館
- ・担当 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈

5 博物館実習生等の受け入れ

※感染症拡大防止のため、例年、学校の要請に応じて受け入れている中学生の職場体験は中止となった。

(1) 博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・新潟大学4年生 3人
- ・8/28(金)～9/11(金)のうち7日間

6 資料(指定文化財を含む)の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録

- ・収蔵資料くん蒸処理 令和3.1/18(月)～1/22(金)
令和元(2019)年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、一般公開を中止した横井の丘ふるさと資料館の民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸し、郷土資料収蔵庫に収蔵した。
- ・防虫防菌処理 郷土資料収蔵庫 令和3.1/20(水)

(2) 収蔵資料等の整理(収蔵歴史資料の目録点検と入力)(外部依頼)作業の記録

①歴史資料の再整理(収蔵歴史資料の目録点検と入力)(杉本耕一氏へ依頼)

- ・資料名 市指定文化財「内沼・佐藤家文書」及び「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
- ・作業日数 16日

②新収蔵歴史資料の清掃・目録作成(杉本耕一氏、河合清氏へ依頼)

- ・資料名 「濁川・渡邊家文書」
- ・作業日数 延べ18日

7 北区の文化財(指定文化財ほか)の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

①市指定文化財の歴史資料の再整理 前項6-(2)に掲載

②地震等による被害調査及び活用等についての調査

- ・法淳寺(市指定文化財)にかかる令和元年6月の地震被害の経過確認(電話による聞き取り) 令和3.2月
- ※令和2年度は活用等についての調査はなかった。

③木崎小作争議関係資料(市指定文化財)の修復にかかる調査 次項8-(2)に掲載

(2) 公開活用

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企画展及び博物館まつりに伴う芸能発表会は中止した。

①指定文化財資料の他館への貸出

- ・福島潟民俗資料14点、内沼・佐藤家文書2点(新潟市歴史博物館)

②文化財等説明板の設置・修繕

- ・板面修繕 4件(宿場町 木崎、開市神社、太郎代天曝観音、小熊幸一郎の功績)
- ・塗装 5件(宿場町 木崎、太郎代天曝観音、小熊幸一郎の功績、サンベ、浜サンベ)
- ・全体(板面・脚部)修繕 1件(山本丈右衛門の墓)
- ・文化財等説明板に二次元コード追加 18件
『ガイドブック 北区のお宝ものがたり』に掲載の説明等を見ることができる二次元コードを板面に追加した。



右下に二次元コードを追加した文化財等説明板(開市神社)

(3) 指定天然記念物の保護育成

「大久保の大ケヤキ」(市指定天然記念物)の枝の伐採についての相談対応等。

8 特色ある区づくり事業 「木崎村小作争議100周年事業」 (令和2～4年度の3カ年事業の初年度)

令和4(2022)年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料の所在確認調査や、展示予定の歴史資料(市指定文化財)の修復のための調査を行った。

(1) 資料の所在確認調査

新潟県立文書館所蔵の「北蒲原郡濁川新田 真嶋家自家経営文書」「濁川新田 真嶋家文書」「北蒲原郡黒川村 伊藤家近代文書」を調査した。

(2) 指定文化財修復のための状態調査

「看板(無産農民学校西入口)」(市指定文化財)修復のための状態調査を東北芸術工科大学に委託して行った。

- ・委託期間 8月～令和3.3月